

令和6年度日田市 埋蔵文化財センター企画展

豊かな自然に恵まれた日田市には、数多くの文化的・歴史的資産があります。

律令社会の日田は、『豊後国風土記』などの地方の様子を記した書物に日田郡の概要が記されています。

近年、奥谷遺跡（新清掃センター建設予定地）をはじめとした様々な発掘調査成果によって、日田郡の律令社会の様子を垣間見ることが出来る遺跡や遺物が発見されております。

本企画展は、文字資料や大型建物などが発見された特徴的な遺跡を紹介し、概要を出土遺物や写真パネルで解説し、「BUNGOHITA-ひたの律令社会をとりまく遺跡たち-」と題して展示するものです。

これらの展示を通して日田市の前身となる豊後国日田郡の社会に触れていただければ幸いです。

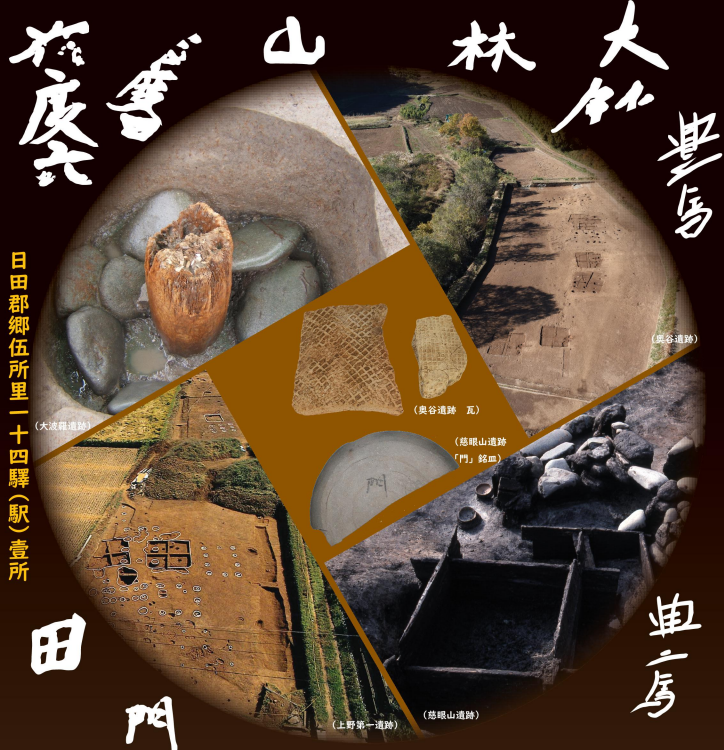
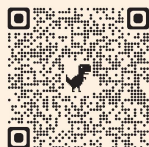
お時間の許す限り、ごゆっくりご覧ください。

日田市埋蔵文化財センター
主催：日田市教育委員会



展示会場 日田市埋蔵文化財センター展示室
(〒877-0078 大分県日田市友田2893-44)

内容についてのお問い合わせは
文化財保護課埋蔵文化財係
〒877-8601 大分県日田市田島2-6-1
TEL 0973-24-7171



令和6年度日田市埋蔵文化財センター企画展
- (兼) 令和5年度発掘調査速報展 -

豊後国日田郡
- ひたの律令社会をとりまく遺跡たち -
BUNGO HITA

2024年 10月7日(月) → 2025年 3月31日(月)

休館日 土・日・祝日・年末年始
開館時間 午前9時から午後4時

ご自由にお持ち帰りください

展示概説

日本では、7世紀に隋・唐を倣って「律令」（法）に基づいた国づくりが進められ、各地方を治める豪族が王権へと組み込まれることで、天皇中心の政治体制が次第に整ってゆきます。そして、701年の大宝律令の制定によって、戸籍や農地耕作権、税制（租庸調など）の整備などが進められ、天皇が全国の民衆を治める法治国家が奈良時代に誕生します。

律令制度下の地方統治では、地方の国や郡ごとに行政機関が設置され、国には京から役人が国司として派遣され、郡は地方の豪族が郡司として任用されました。政庁は、京を模して造られ、京と地方を結ぶ道路網や駅家も整備されました。

日田郡は豊後国の地方行政単位として設置され、郡衙や郡司館、駅家などの有力な候補地も発見されています。また、『豊後国風土記』に記される5つ「郷」を代表する遺跡の発見例も増えています。

こうした遺跡などでは硯などのほか、文字が書かれた墨（刻）書土器などが多く出土し、一般的な集落とは様相が大きく異なっています。

今回展示する特徴的な建物や瓦、文字、道路といった律令社会を形づくる文物を通して、豊後国日田郡の暮らしの一面をのぞいてみましょう。



展示遺跡の紹介

奥谷遺跡

日田市山田町

日田盆地北側の台地奥を流れる奥谷川沿いの小谷に位置する8～9世紀の遺跡。竪穴住居や掘立柱建物からなる集落跡で、生活に使用する土器類のほか、竪穴住居のカマドから、当時まだ公的施設でしか使用されていなかった瓦が出土した。小集落ながら、特別な役割を担っていた可能性が考えられる。



奥谷遺跡全景



カマド内瓦出土状況

大肥吉竹遺跡

日田市大肥町

日田盆地より西方の大肥川流域奥部に位置する6～8世紀の遺跡。竪穴住居や掘立柱建物が密集し、「花度太」銘の朱墨土器や瓦、火打金などが出土した。大型の掘立柱建物が立ち並び、墨書や瓦、金属製品などが見られることから、筑前地域に隣接する里庁などの特殊な用途の集落と想像される。



建物群空撮



カマド墨書出土状況

銭渚遺跡

日田市銭渚町

日田盆地南部の三隈川左岸の河岸段丘端部に位置する7世紀後半の遺跡。複数の竪穴住居や掘立柱建物が確認され、なかでも3×6間以上の大型掘立柱建物は、柱穴の規模・構造などから、公的性格を持つ施設と考えられる。立地や建物規模から、交通に係る役割を担っていたと想定される。



掘立柱建物



柱穴礎石土層



展示遺跡位置図

時代	時期区分	年代	日本の出来事	日田の出来事	日田の遺跡	主要な遺跡
弥生時代	後期	約2,000年前	卑弥呼が活躍する。	環濠集落がつくられる。	吹上遺跡	吉野ヶ里遺跡
古墳時代	前期	3世紀	大型の前方後円墳が作られる	小迫比原遺跡で原形が窺われる	小迫比原遺跡	箸墓古墳
	中期	5世紀	鉄作りや須恵器作りが伝わる	石棺墓や小型円墳などが群集して作られる 初期須恵器や瓦が導入される	クエト古墳 瓜迫墳墓群	大仙古墳
	後期	6世紀	筑紫系壺井の乱が起こる	前方後円墳が造られる グラントヤ古墳などの装飾古墳が作られる	朝日天神山古墳 グラントヤ古墳	岩戸山古墳
飛鳥時代		7世紀	聖徳太子の政治 大化の改新	朝廷に仕えた人物や日下部の姓が登場する。	穴観音古墳 銭渚遺跡 大波羅遺跡 小迫比原遺跡 大肥吉竹遺跡 上野第1遺跡 慈眼山遺跡 奥谷遺跡	明日香浄御原宮 藤原京
		710年	平城京に都が遷される	日田郡御や役人屋敷などが造られる		平城京
奈良時代		732年	風土記が造られる	豊後国風土記で日田5郷（夜明・渡里・石井・万連・在田）と駅（石井）の存在が記される		恭仁京 難波京
		794年	平安京に都が遷される 藤原氏による政治が全盛を極める	日下部氏が活躍する。		平安京
鎌倉時代		10～12世紀	武士が登場する	大蔵氏が登場し永興寺に仏像が奉納される		
		1192年	鎌倉幕府が成立する	蒙古襲来で大蔵氏が活躍する	朝日宮ノ原遺跡	
室町時代		1338年	室町幕府が成立する	慈眼山一帯に城や武家屋敷が建てられる	慈眼山遺跡	

歴史年表

クエト古墳・瓜迫墳墓群

【令和5年度調査】
日田市有田町

日田盆地東部の丘陵地に位置する5世紀頃の墳墓群。2基の円墳や土墳墓などで構成される墳丘墓が確認された。瓜迫墳墓群からは鉄鏃などが出土した。

大波羅遺跡

日田市上城内町・田島1・2丁目

日田盆地東端の丘陵裾に広がる沖積地に位置する8～9世紀の遺跡。掘立柱建物や溝、遺物包含層から「山」「田」銘の墨書土器や転用硯、瓦、玉砂利などが出土した。なかでも四面庇の建物や柱木が残る板塼と目される大型柱穴列などの特殊な建物から、古代日田郡の役所施設と推測される。



大型柱穴列



柱木出土状況

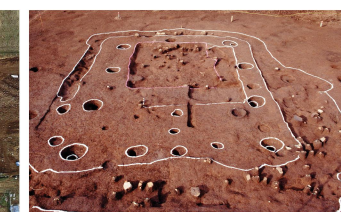
上野第1遺跡

日田市上野町

日田盆地の南部の台地上に位置する8世紀の遺跡。道路を中心に、L字配置の掘立柱建物の居宅や小型建物や竪穴住居で構成される倉庫、水場や祭祀場などに区画され、「豊馬豊馬」と刻まれた榿（おもり）などが出土している。石井駅に關係の深い有力者の居宅や公的施設と考えられる。



駅関連施設周辺空撮



周溝建物

慈眼山遺跡

日田市城町

日田盆地東部の丘陵裾緩斜面に位置する8世紀後半～9世紀初頭の遺跡。内寸90cm程の木製井桁組の井戸からは「門」・「林」銘の須恵器皿や曲物の木製容器などが出土している。建物跡は発見されていないものの、官人や有力者等の居宅であったと推測される。



井戸跡



「林」銘土師器